

Theme 05

暮らしに心地良さを

子育て世代から高齢者まで、誰もが心地良く暮らすために。
利用者目線の、高崎市独自の取り組みを紹介します。



A city where everyone can live comfortably A town that provides social support for the child-rearing generation

Takasaki City is undertaking various initiatives from the citizen's perspective so that everyone from the child-rearing generation to the elderly can live comfortably. The "Kosodate Nandemo Center" is a base for child-rearing support that provides support from pregnancy to child-rearing and reemployment. A "Child-rearing SOS Service" where helpers rush to the aid with a single phone call, "Childcare for sick children/childcare after illness" for sick children, and "Medical expense subsidy assistance" for children up to graduation from junior high school. Takasaki is promoting the creation of a town that is perfectly suited to those who want to raise children.

子育てSOSサービス



電話一本ですぐに対応。
ヘルパーが自宅へ訪問。

子育てで手いっぱいになり家事まで手が回らなくなったとき、「誰かと話をしたい」「疲れてしまった」と感じたとき、子育てSOSサービスが力になります。ヘルパーがもく浴、授乳などの手伝いや、料理や掃除などの家事全般を行うサービスです。利用の対象者は市内に住んでいる、妊娠中の人か未就学児の保護者です。ヘルパーの訪問は、利用者が在宅している間に限られます。訪問の費用は1時間250円、電話相談は無料です。

子育てなんでもセンター

出産から再就職の悩みまで
子育てをトータルサポート。

妊娠期の不安や、子育ての悩み、再就職の相談などを一括して受け付け、支援につなげる拠点です。保育所・幼稚園探しにも力を入れており、市内の幼稚園・保育所・認定こども園の園長が日替わりで来所し、入園相談をすることができます。また、求人情報の提供や、一人ひとりの「ライフプラン」を視野に入れた就労相談を実施。併設の託児施設に、子どもを預けて面接や就職説明会に出かけることもできます。



子育て世代を社会で支える。

子どもの医療費助成扶助

子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、医療機関を受診した際、保険診療の自己負担分と入院時の食事療養費の標準負担額を市が助成（無料になる）制度です。中学校卒業までの子どもが対象です。

病児保育・病後児保育

「子どもが病気になって保育所や幼稚園に登園できないけど、どうしても仕事を休めない」。そんなときに頼りになるのが、病気の子どもの預かる「病児保育」と、回復期の子どもを預かる「病後児保育」です。2020年現在、市内に6か所あります。

